

1 「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る「今後の方向性」

「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る各団体の「今後の方向性(存続、自律化、解散又は統合)」と「目標年度」を記載する。団体経営の長期的な目標であり、「中期経営計画」はこれらを実現するための工程表である。

方向性	自律化	目標年度	平成32年度
-----	-----	------	--------

2 「今後の方向性」に向けた基本的方針

「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る各団体の「今後の方向性」を実現するため、業務面や財務面等についての基本的な方針を定める。「今後の方向性」が「自律化」の団体については、「目標年度」までの方針となる。

業務面	京都市環境保全活動センター（京エコロジーセンター）指定管理業務を次期契約以降も継続的に獲得していく。
財務面	指定管理業務に依存した体質の脱却を図るため、新規事業を獲得していく。
組織面	組織運営能力を備えた職員を育成する。
その他	特になし

3 基本的方針を実現するための具体的取組(2年間の計画期間における具体的取組)

- ① 「2 「今後の方向性」に向けた基本的方針」を実現するための具体的取組を記載する。
- ② 取組ごとに、各年度の目標となる指標及び目標値を設定する。
- ③ 計画期間の最終年度(平成29年度)の目標値が中期経営計画全体の目標値となる。

(1) 業務に関する取組

目標 「指定管理業務を引き続き受託するための来館者数の確保」

取組内容	京都市環境保全活動センター（京エコロジーセンター）指定管理業務（第4期、契約期間：平成29年～32年）を引き続き受託できるよう、来館者数を確保していく。				
○指標	京エコロジーセンター来館者数				
採用理由	環境に優しい実践活動の輪を広げられたかどうかを計る指標の一つと考えられるため。				
目標値	H26(目標) 93,000	H26(実績) 91,847	H27(目標) 93,000	H28 92,000	H29 92,000 (単位：人)
実現方法	隣接する京都市青少年科学センターと連動したワークシートを開発し、一般来館者を確保する。また、旅行会社等に対する広報に取り組み、団体見学者数を確保する。				

(2)財務に関する取組

目標 「新規事業の収益増による経常収益に占める指定管理収益割合の低減」

取組内容	協会収益の大半を京都市環境保全活動センター（京エコロジーセンター）指定管理業務に依存しているため、新規事業の獲得により収益の多様化を図る。				
○指標	経常収益に占める指定管理収益割合				
目標値	H26(目標) —	H26(実績) 83.8	H27(目標) —	H28 69.2	H29 69.0 (単位：%)

(3)組織に関する取組

目標 「組織管理体制の強化」

取組内容	今後の組織の継続・発展を図るためにには、公益法人としての要件を熟知し、組織運営能力を備えた職員の育成が必要である。そのため、公益法人事務を担当する総務課職員の育成を行う。				
○指標	講習会参加者数				
目標値	H26(目標) —	H26(実績) 12	H27(目標) —	H28 13	H29 13 (単位：人)